

その他の木材・木製品製造業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	当社の第3工場内に於いて、スクラップをトラックに運ぶ作業をする際に、シュレッダーのロストルをリフトに3枚載せ、トラックの場所まで動かす途中で、ロストルの1枚（厚み8cm、横32cm、縦204cm、約100kg）が崩れ落ち、リフトから降りてそれをリフトに戻そうと持ち上げたときに、誤ってふらつき右足を捻って負傷した。	43～49	30
1	11～12	梱包作業中に、左肘をねじるような感じで痛めた。	52～29	10
2	8～9	当社工場内の木箱置場にて柱が障害になり、2段積（3,500mm×600×600）の透箱をリフト荷役に都合の良い位置（約50cm）まで移動するため、引っ張り出したところ腰を痛めた。	65～9	1
5	14～15	高さ1.6mの台に載っているC75×145×3.2の鉄骨材料の上に乗り結束されている材料の結束バンドを取り外していたところ、作業が終わり降りようとした時、ギックリ腰が痛くなりバランスが崩れ飛び降りてしまい、地面にかかたから落ちた。	47～29	10
6	11～12	工場で、完成品が載った台車をトラック出荷エレベーターへ運ぶ際に、2人で運ばなければならない運搬を1人で運搬している作業者を見つけ、その台車がエレベーターにぶつかりそうになったので止めに走り、力を込めて踏み込み、台車を止める際に「ぶちっ」という音と共に肉離れになってしまった。	41～49	30
7	15～16	工場内において、プレカット（開口）加工中、製品を荷台に降ろした後、体を伸ばした際に腰に痛みを感じた。	38～9	1

10	9 ～ 10	パレット修理の工場第二事業所内で、パレットの積おろし積み上げ機付補修ラインにて、PPCパレットの修理中に、パレットがライン上で詰まり、上に持ち上げて取り外そうとしたところ、背中に痛みが走った。	51 ～ 29
11	9 ～ 10	化粧パネルの加工作業に従事中、帯板（15mm×446mm×1800mm、重さ約3kg）を、パネルソーにて製品サイズ（15mm×446mm×661mm）に、カットし、そのカットした製品を作業台の上（高さ約700mm）に置き、体を起こした際に、腰部に強い痛みを覚えた。整形外科にて受診したところ、腰部挫傷と診断された。	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html